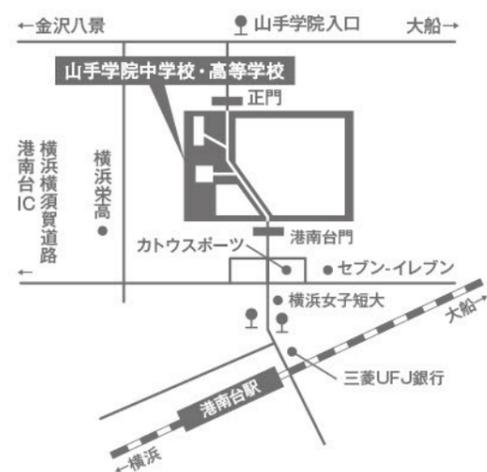


MAP



ACCESS

- JR京浜東北・根岸線 港南台駅下車 徒歩12分
横浜～港南台 24分 大船～港南台 7分
- 横浜市営バス45、111系統ほか 横浜女子短期大学前下車
- 神奈川中央交通バス大船～金沢八景線ほか 山手学院入口下車

ADDRESS

- 〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町460
- 045 (891) 2111
- www.yamate-gakuin.ac.jp



YAMATE

山手学院中学校・高等学校

YAMATE

山手学院中学校・高等学校 2023年度 学校案内

'23



山手学院は、「未来への夢をはぐくみ、

その夢の実現をたくましく になっていく人」

すなわち、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」

を育成することを、建学の精神としています。

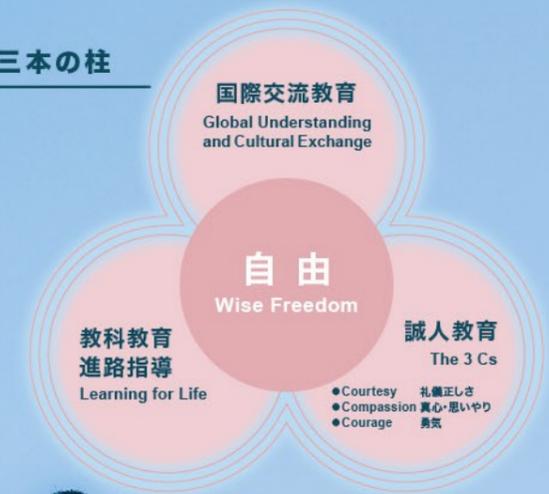
教育方針

建学の精神を実現するために、

本校では「三本の柱」を教育方針に定めています。

三つの柱の中心にある自由とは、自らに誇りを持つとともに、
他者の誇りと他者の自由を尊重する姿勢の上に成り立つ自由、
すなわち「Wise Freedom」です。

三本の柱



「意志ある未来」を共に創ろう



山手学院は、二人の創立者の「太平洋が再び荒れることのないように」、「大地を1 cmでも動かす働きをせよ」、
という強い思いの中、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」の育成を建学の精神として生まれました。
それから半世紀を経て、世界はインターネットで一つにつながり、私たちはICT、AIという
強力なツールがある世界に生きています。そして、この流れは今後一層加速していくでしょう。
このような世の中で求められるのは、これまでのようなただ正解を求める力だけではありません。
強い「意志」を持って自らの道を切り拓いていく力(非認知能力)です。
インターネットなどのICTやAIというツールは「意志」ある人が使うことによって初めて
世界を変え得る、世界を動かし得るツールとなります。
「生徒が高度な教育を受けたかどうかは、試験で何点取れるかではなく、まったく新しい状況で
何ができるかによって確かめられる」と国際バカロレア初代事務局長アレック・ピーターソンは言っています。
山手学院では、非認知能力を鍛えるプログラム(GLP)に取り組んできました。また、授業や部活動を通じて、
みなさんの「意志」を引き出すよう、生徒と教師が共に努力し、磨き合っています。
この学校案内を手に入れているみなさん、「意志」あるところには必ず未来が開けます。高い思考力と非認知能力という
最強の能力を山手学院で手に入れ、我々と一緒に「意志ある未来」を創っていきましょう。

校長 時兼洋昭

国際交流 教育

独自の国際交流プログラムとGLP (Global Leader Program)のもと、
中学3年から世界を体験します。異文化にふれ、新しい自分の発見につなげています。



「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を育成するという目標を実現するためには、
単に教室の中で世界について学ぶだけではなく、中学生・高校生という多感で柔軟な吸収力のある時期に、
直接「世界」の中に飛び込み、体験することが必要だと考えています。

山手学院で学ぶすべての生徒にその機会を与えるのが、本校の国際交流プログラムです。

中学3年でのオーストラリアホームステイ、高校2年での北米研修プログラムを柱として、

ニュージーランド中期留学、国連世界高校生会議 (UNIS-UN) への生徒派遣などを行っています。

GLP (Global Leader Program) では、身のまわりから世界の課題にまで目を向けて解決策を見出していく

SDGsやアントレプレナーシップ、プログラミングについて学ぶ講座や、

シンガポールやボストン研修など多種・多様なプログラムを実施しています。



国際社会で活躍する人間に
育つために、
何を心がけるべきなのでしょう？



国際交流教育部長 大村 学

グローバル化が進む世界。現代は、「世界で活躍する人材＝握りのエリート」という時代ではありません。いろいろな立場の人が国境を越え、従来以上にさまざまな分野で活動することが当たり前の社会になっています。ではその国際社会において、日本で学ぶ子どもたちが活躍する人間に育つためには、何を心がけるべきなのでしょう？

山手学院の建学の精神である、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」の育成を実現するためには、教室の中で世界について学ぶだけでなく、多感で柔軟な吸収力のある時期に、直接「世界」に飛び込み、自ら経験することが必要です。

本校の国際交流プログラムは、すべての生徒が参加する中学3年での「オーストラリアホームステイ」、高校2年での「北米研修プログラム」を柱として、世界各国への1年間の留学制度、ニュージーランドへの3カ月の留学制度、世界の代表として議論する「国連世界高校生会議 (UNIS-UN)」への生徒派遣などを行います。

GLP (Global Leader Program) は、SDGsを学び世界に目を向けるEyes on the Worldや、シンガポール国立大学で行うイマージョンプログラムなど、中学3年・高校1年の2年間にさまざまなプログラムを行います。

単に英語を話せるようになることを目標とせず、お互いの文化の違いを知り、それぞれの文化のよさを見出すことを通して、文化の差に阻まれないコミュニケーション能力が身についていきます。多様な仲間とふれ合うことで、ものごとに対する考え方が豊かになり、新しい環境に飛び込むことは、今まで気づかなかった自分を発見することにもつながっていきます。

自らの意思で学び、自らの力で行動する。そのためのツールとして語学力を高めながら、知らない土地への好奇心や異文化への理解を深めていく。これがグローバル化した「世界」におけるスタンダードであり、世界で個々がパーソナリティを発揮し、人々の信頼を得て活躍していく原点だと思います。そして、それが自然に身についた大人に育っていく環境が、山手学院にはあります。

国際交流プログラム

中高一貫の山手学院ならではの多彩な「国際交流プログラム」を通じて、広くて多様な世界を実感し、世界基準の視野を育てます。

3年(中3)

4年(高1)

5年(高2)

6年(高3)

オーストラリア
ホームステイ



ニュージーランド
中期留学
(中3希望者)



- 直前講習
- 春の講習
- 冬の講習
- 夏の講習
- 説明会

北米研修プログラム

北米ホームステイ



リターンビジット



国連世界高校生会議
(UNIS-UN)
(高1~高3希望者より選抜)



世界基準の
視野を持つ

オーストラリアホームステイ



山手学院での国際交流の第一歩となるのが、中学3年生が全員参加で11月初旬に6泊7日の日程で行うオーストラリアホームステイです。中学1年から築き上げた英語力を試すよい機会として、また総合的な学習の一環として実施し、今年度で21年目を迎えます。木曜夜に日本を出発、金曜朝にオーストラリアに到着後、夕方にホストファミリーと対面。2人1組でお世話

になります。翌週月曜は、現地の学校を訪問。オーストラリアの子どもたちと打ち解けて、楽しい時間を過ごします。この5日間のホームステイプログラムは、海外への興味・関心を深めたり、より高い目的意識を持って学習に取り組んだり、向上心を育むきっかけになり、高校2年で行う北米研修プログラムへとつながっていきます。

※2021年度は代替行事に変更されました。

ニュージーランド中期留学



この留学プログラムは、中学3年の3学期に実施されます。初めの2週間はニュージーランド政府が公認する語学学校で、語学だけでなく文化や習慣、公共などの生活方法についても学びます。3週目からは現地の学校に編入し、計3カ月間を過ごした後に帰国し、高校の入学式を迎えます。15歳という柔軟な時期に、保護者のもとを離れ、自らの力でホストファミリーやクラスメイトと英語でコミュニケーションを図る留学プログラムは、6年一貫だからこそ選択できるプログラムのひとつです。

※2021年度は中止になりました。

北米ホームステイ



高校2年生全員参加で1969年度から行っています。4月中旬、15泊16日の日程で、カナダ、アメリカの都市へ行き、2人1組でホームステイをします。日本の文化紹介やパフォーマンスを行うほか、現地の学校の行事に参加。世界を肌で感じる2週間です。

※2021年度は中止、2022年度は延期になりました。

リターンビジット



山手学院の生徒が訪問したアメリカやカナダの生徒を7月下旬に日本に迎え、山手生の家庭にホームステイをしてもらいます。山手生と同じようにクラブ活動を行ったり、地域での活動に参加したり、横浜・鎌倉・浅草などを散策したりします。

※2021年度、2022年度は中止になりました。

国連世界高校生会議(UNIS-UN)



ニューヨークにある国連国際高校の生徒たちが中心となり企画して行われるこの会議は、毎年3月上旬、国連本会議場を舞台に開催されます。世界を取り巻く問題をテーマに、関連分野の第一線で活躍する方々をゲストスピーカーとして招き、世界数十カ国の高校生と意見交換・交流を行います。本校は1993年から参加しています。

※2021年度はオンラインでの実施になりました。



Global Leader Program

20年後の世界で活躍する人材、「Change Maker」の育成に向けて。

本校では、建学の精神である「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を育成することを掲げ、創立以来の長きにわたり国際交流教育を柱とした教育活動を進めてまいりました。

さらに、今まで行ってきた国際交流プログラムに加え、新たな国際教育となるGLP (Global Leader Program)を開始しています。このGLPを通してSociety5.0の未来を生き抜く力と協働力、英語力やプログラミング能力を育成するための機会を多数設けましたので、ここで紹介させていただきます。GLPは中学3年生・高校1年生を対象としたプログラムで、子どもたちの非認知能力を育成することをテーマとしています。

Webプログラミング



Eyes on the World SDGs



世界で活躍する卒業生に学ぶ



Grassroots Innovator Program



Python プログラミング



Eyes on the World クラウドファンディング



留学生たちと世界の問題を話そう



INSTANT TECH



エンパワーメントプログラム



北米文通プログラム



夢プロジェクト



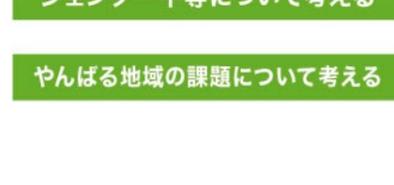
国内GLPツアー

循環型まちづくりのしくみを考える



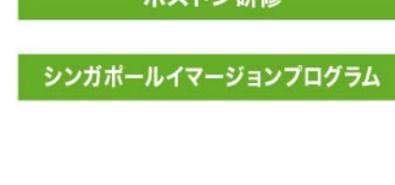
夢プロジェクト

ジェンダー平等について考える



海外GLPツアー

ボストン研修



やんばる地域の課題について考える

シンガポールイマージョンプログラム

第51回 北米ホームステイ (2019年)の訪問先

カナダ	
訪問先	参加生徒数
エドモントン	148
ウォータールー	72
トゥルーロ	38
アナポリスバレー	35

アメリカ	
訪問先	参加生徒数
デイトン	40
ワラワラ	79
フォートウェイン	76

※2022年4月の開催は延期となりました。



教科教育 進路指導

中高6年間を通じた教科指導は、手厚くきめ細やかです。
確かな学力を育て、未来の可能性を広げていきます。



中高6年間で3期に分け、
基礎学力の要となる科目に
十分な時間をかけていきます。



教務部長 島田 和彌

教科指導は手厚く、きめ細かく行っています。6年間の山手学院での生活を修了したとき、その先の世界で通用するために必要な総合力と個性を養い、未来に羽ばたけるように準備をします。

中学高校の6年間で3期(前期:中1中2、中期:中3高1、後期:高2高3)に分け、週34時間に縛られず、基礎学力の要となる科目に十分な時間をかけ、確かな学力を育てます。

前期:漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習慣を育成します。英語に関してはEnglish(山手学院独自教材)でコミュニケーションスキルなど、より豊かな能力を育てる教育を実践しています。

中期:中3時に選抜クラス(2クラス)を設置し、ある程度発展的な学習にまで取り組みます。またクラスの人数を少なくすることで、すべての生徒の学力向上を目指します。

後期:選抜クラスは難関国立大を目指し、一般クラスは文系・理系の2コースに分け、効率よく指導します。選択授業も充実させています。

6年間の学び

1年(中1)	2年(中2)	3年(中3)	4年(高1)	5年(高2)	6年(高3)
学びの特徴					
基本的な生活習慣・学習習慣の確立 漢字コンテストなどを通して基礎学力を、授業を通して考える習慣を、行事やクラブ活動を通して挑戦する姿勢を育成します。家庭学習との連携を重視していきます。		可能性に挑戦する姿勢の育成 英数では3年(中3)から高校レベルの内容に取り組みます。少人数授業によって、中下位層に手厚く、上位層にはさらに刺激を与え、すべての生徒の学力向上を目指します。		自己の将来への取り組みと開拓 選抜2クラスと、文系・理系に分け効率よく指導。また土曜講座も使って、選択演習を充実させています。	
学びの具体的な取り組み					
★検定外教科書使用 体系数学(数研出版) ●校外学習 ●スケッチコンクール ●漢字コンテスト(漢検含む)	★検定外教科書使用 体系数学(数研出版) ●野外教室 ●スケッチコンクール ●漢字コンテスト(漢検含む)	★先行カリキュラム開始 ●オーストラリアホームステイ ●漢字コンテスト(漢検含む)	★進路選択説明会 ●模擬試験	★共通テスト報告会 ●模擬試験 ★大学模擬講義(早稲田・明治など) ●北米研修プログラム	★大学入試説明会 ●模擬試験
● 基本的な学習 ★ 進学のための学習					

6カ年一貫コース

1年(中1)	2年(中2)	3年(中3)	4年(高1)	5年(高2)	6年(高3)
一般クラス	一般クラス	選抜クラス(2クラス)		選抜クラス(2クラス)	
		一般クラス	一般クラス	文系クラス	
				理系クラス	
●各クラスの男女比が同じになるようにクラス分けをします。 ●English・技術家庭の授業が1クラス2分割で行われるほかは、すべてホームルーム単位の授業となります。		●「選抜クラス」2クラスと「一般クラス」4クラスに分かれます。 ●「選抜クラス」では、ある程度発展的な学習にまで取り組みます。 ●「一般クラス」では、中1・2年次よりもクラスの人数を少人数にして授業が行われます。3年次から4年次、4年次から5年次において「一般クラス」から「選抜クラス」に入ることができます。		数学・理科は選択が可能ですので、国立志望者にも対応しています。芸術系の進路を志望する場合は、このクラスで選択することができます。	
中学校での英語教育 1年から3年までの総合学習の時間でEnglishを行います。1クラスを2分割し、それぞれネイティブスピーカーの教員が教えます。テキストはすべて独自教材で、1年ではコンピュータも取り入れた授業をします。3年で全員参加のオーストラリアホームステイに向け、さまざまなシチュエーションでの表現練習や日本人が間違えやすい「数」や「冠詞」、「動詞の語法」などを学びます。		国立志望者にも対応しています。			

教科の特色

6年間を通じた段階的な指導、教科ごとに工夫を凝らした授業で、真の学力を培います。



国語

国際社会で活躍する人間にふさわしい高い言語能力と、それを支える教養ある人格の育成を目指し、国語科ではその基盤になる日本語の歴史・文化・意識をよく「学び」、深く「理解し」、現代に生きるものとして「考え」、他者に対して「表現する」力を育てます。中学では、まず自主的に学習に取り組む姿勢を確立します。ノートの取り方や辞書の扱い方、試験勉強の仕方等を身につけていきます。高校では、進路に応じた取り組みを進めていきます。全学問の基盤となる言語能力を高め、多様化する受験制度に対応できる学力をつけます。



理科

科学的な思考力と観察力を育成することをテーマにしています。実験観察を多く行い、生徒が自ら学び探究する機会を増やしています。多くの生徒が実験に参加できるよう、実験器具や薬品は数多く揃えています。実験を通して得た自然現象に対する驚きや感動は、本当の学力として高校での学習や大学受験に役立つだけでなく、卒業後も世の中のさまざまな現象に興味を持つ原動力になります。また、タブレットを用いたICT教育にも力をいれています。高校2年以降の理系では、入学試験に合わせた指導を実施し、真の理学的思考を育めるように指導しています。



社会

世界の枠組みが大きく変わり、異文化との交流が増え、新たな選択を迫られている現代において、日本と世界の過去と現在を知ることは、かつてなく重みを増しています。社会科では、知的探究心や多角的視点を養い、世界市民としての公正な判断力と、その根拠となる教養を身につけることを目標に、問題解決型のグループ学習などを通して、高度な理解を目指します。中学1年で「世界」、中学2年で「日本」をテーマに、地理・歴史を相互に関連づけながら学習。中学3年では近現代の日本の歩みを学び、現在の政治や経済への理解を深めていきます。



英語

英語を「読み・書き・話し・聞く」だけでなく、相手を知り自分を理解してもらうことを自由にできるレベルを目指します。中学1年から中学2年では英語でのコミュニケーションに必要な基礎的な知識を身につけます。ネイティブスピーカー教員による英語に親しむ授業も行います。中学3年から高校1年では英語を運用する力を伸ばします。速読を意識したトレーニング、リスニングやスピーキングの技能を伸ばすための音声活動も行います。高校2年から高校3年では大学入試問題演習を中心に、国立・難関私立大の入試に対応できる実力を養成します。



数学

次の5つの数学的な見方や考え方を身につけることを目標としています。①帰納的な考え方(具体的な例から推測し、共通に成り立つ一般的なルールをつくる)②類推的な考え方(類似する既知の事項の性質やルールが同様に成り立つとする)③演繹的な考え方(論理的規則を用いて必然的な結論を導き出す)④一般化の考え方(ひとつの対象、または集合全体で成り立つ一般性を見つける)⑤単純化の考え方(複雑なものを、簡単になる場合に置き換えをする)。数学の学習を通して、一人ひとりがこれらの能力を身につけ、伸ばせるように指導しています。

技術家庭

技術科の木工ではできるだけ機械に頼らず、手工具を使ったモノづくりを目指しています。さまざまな加工法を学びながらラックや電気スタンド、ラジオの製作などを通してモノづくりの楽しさや難しさを学習します。中学の家庭科では、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識や技術の習得を目指し、高校では、「衣生活」「食生活」「住生活」と「家庭経済」を実習・実験などを行いながら学びます。

保健体育

「走ること・跳ぶこと・投げること・泳ぐこと」を軸に体力の向上を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力、健康の保持や増進のための実践力を育成することを目標にしています。6年間の体育の内容は、陸上競技、器械体操、ダンス、球技、武道などをクラスごとに男女別習で行います。中学1年では保健体育講座として、外部講師を招き「思春期の心と体について」学ぶ機会を設けています。

美術

情操の発育において大切な位置づけを担う美術は「描くこと、見ること、感じること」をテーマに、中学3年間を通じて、豊かな感性を育む授業を行っています。豊富な画材にふれ、多様な表現方法を体験することで創造活動の喜びを味わいます。また作品を鑑賞することによって浮かんでくる「何を表現しているの?」「どうやって描いたの?」という疑問をきっかけに、さまざまな表現活動に挑戦していきます。

音楽

音楽とは文化です。音楽を学習することで、日本と世界の文化を情報として知るだけでなく、じかに体感することができます。中学では篠笛から始め、箏との合奏を目指します。高校の芸術選択では、三線の演奏と並行し、ソルフェージュ、歌唱、創作、楽器演奏などに取り組み、世界の音楽を体感します。またグループ演奏や合唱コンクールを通して、協力しながら音楽をつくり上げる喜びも学びます。



進路指導

一人ひとりの希望や個性に合わせた的確な進路指導のもと、確かな実績を上げています。

主体的に勉強する環境をつくり、大学の先を見据えた進路指導を行っています。



進路指導部長 片山 真巨人

山手生は授業や部活動、北米研修プログラム、そして山手祭と充実した日々を過ごしています。その山手生が、学校にいながら大学を身近に感じられる取り組みとして、模擬講義、大学の入試課の方による説明会などを実施しています。

また、高校2年の後半になるとお互いに感化し合い、早朝や放課後の教室で勉強する生徒が現れます。校長は「『正解』のない世界を、自ら切り拓こう」とよく生徒たちに話しています。まさに、山手学院では生徒が主体的に勉強する姿勢・環境が受け継がれています。

それに加え、進路情報に精通した教員が一人ひとりにきめ細かな指導をし、生徒の学力向上ならびに希望する進路の実現をサポートしています。

また、受験には生徒本人だけでなく、保護者、教職員が一体となって向き合います。昨今の入試の変化にいち早く対応すべく「保護者のための大学入試研究会」を実施し、多くの受験情報を提供しています。

本校の進路指導は、大学に入学することを一番の目標にするのではなく、その先の未来をも見据えて行っています。受験当日に本来の力を出し切ることは難しいものですが、山手生はこれまで仲間と共に最大限の努力をしてきたという自信があるからこそ、本来の力を発揮でき、結果につながれていると思います。

進学実績

2022年合格実績

抜粋・（ ）内は現役生

国公立大学

北海道大学	9(9)	横浜国立大学	15(14)
岩手大学	2(1)	神奈川県立保健福祉大学	1(1)
東北大学	4(4)	横浜市立大学	11(11)
秋田大学	2	川崎市立看護大学	1(1)
国際教養大学	1(1)	金沢大学	3(3)
山形大学	1(1)	信州大学	8(5)
福島県立医科大学	1	諏訪東京理科大学	1(1)
群馬大学	2(1)	山梨大学	4(3)
筑波大学	2(2)	静岡大学	3(3)
高崎経済大学	4(4)	名古屋市立大学	1(1)
千葉大学	5(5)	京都大学	1
東京大学	1(1)	大阪大学	4(4)
一橋大学	5(4)	大阪公立大学	1(1)
東京工業大学	2(2)	福井大学	1(1)
東京藝術大学	2	奈良女子大学	1(1)
お茶の水女子大学	3(3)	和歌山県立医科大学	1(1)
東京外国語大学	5(5)	九州大学	3(3)
東京学芸大学	1(1)	宮崎大学	1(1)
電気通信大学	4(3)	福岡教育大学	1(1)
東京農工大学	1(1)	長崎大学	1(1)
東京海洋大学	3(3)	佐賀大学	1(1)
東京都立大学	11(10)	防衛大学校	3(2)

私立大学

早稲田大学	73(68)	専修大学	73(68)
慶應義塾大学	48(41)	芝浦工業大学	84(76)
上智大学	30(30)	東京都市大学	99(82)
東京理科大学	96(85)	東京農業大学	35(33)
明治大学	178(161)	北里大学	32(29)
青山学院大学	108(103)	津田塾大学	15(13)
立教大学	128(121)	東京女子大学	37(35)
中央大学	122(105)	日本女子大学	47(47)
法政大学	146(128)	昭和女子大学	63(63)
学習院大学	26(25)	フェリス学院大学	12(12)
成城大学	35(32)	東洋英和女学院大学	19(19)
成蹊大学	15(14)	関西大学	4(3)
明治学院大学	94(93)	関西学院大学	1(1)
國學院大学	32(32)	同志社大学	3(1)
日本大学	126(116)	立命館大学	12(12)
東洋大学	91(86)	神奈川大学	136(128)
駒澤大学	27(27)		

2022年
国公立大学
現役進学者数上位校

1. 横浜国立大学
2. 北海道大学
3. 横浜市立大学
4. 東京都立大学
5. 東京外国語大学

2022年
私立大学
現役進学者数上位校

1. 明治大学
2. 早稲田大学
2. 立教大学
4. 青山学院大学
5. 慶應義塾大学

グループ別大学合格者数推移

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
国公立	66	111	91	98	95	138
早慶上理	252	257	257	180	216	247
MARCH	443	516	420	505	555	682
卒業生数	447	500	467	478	485	591

※現浪合計

YAMATE TOPICS

コロナ禍の中、今後の学びにつながる国際交流プログラムを実施。

中学3年生が全員参加するオーストラリアホームステイは、コロナ禍のため残念ながら中止となりました。その代替行事として、TKPガーデンシティ新高島で外国人留学生と交流しながら英語力の向上と異文化理解を実践できる「Power in Me」プログラムを11月4日と5日の2日間の日程で実施しました。

1日目は2日間を一緒に過ごす留学生を探すことから始まりました。与えられたヒントをもとに、生徒たちは留学生に質問し、対面を果たします。そしてこれまでグループごとに目的地を選び準備をすすめていた「フィールドワーク」に出かけました。鎌倉や明治神宮など行き先はさまざまで、留学生に日本の文化や魅力を生徒たちが紹介する一日となりました。

2日目はまとめのプレゼンテーションです。フィールドワークの様子を限られた時間の中でプレゼン資料にまとめ、英語でプレゼンを行いました。

2日間を共に過ごした留学生との別れを惜しむ場面も見られ、今後の学びにつながる国際交流の時間となりました。



学校生活

豊かな心を育む多彩な行事と、自信と誇りを培うクラブ活動と。
山手学院では伸び伸びと充実した6年間を過ごせます。



クラブ活動は、何ごとも
最後までやり抜く原動力となります。



生徒会指導部長 藤澤 尚

山手学院での学校生活は各種行事やクラブ活動を通じて、より豊かで充実したものになります。年間での学校行事はとて多く、「スケッチコンクール」「野外教室」「オーストラリアホームステイ」など各学年の行事から「山手祭(文化祭)」「全校ロードレース大会」のような全校規模のものまで多岐にわたります。なかでもクラスとクラブが独自に企画した展示を行う山手祭は、例年5000名を超える方々にご来場いただく最も盛り上がる行事のひとつです(最近2年間は、コロナ禍の影響により一般公開できませんでした)。また、豊かな心を育むための情操教育として「合唱コンクール」「芸術鑑賞会」を行っています。

生徒会活動も盛んで、2月に行われる選挙により選ばれた役員を中心に、自主的・自律的な活動を行っています。生徒会が主催する行事としては「新入生歓迎スポーツ大会」「山手祭(文化祭)」「卒業生を送る会」などがあり、これらの行事は生徒会役員が企画・準備・運営を行います。また最近では、「学校指定セーター・カーディガンなどの製作企画」や学内ゴミ分別問題に関して「資源リサイクルプロジェクト」にも取り組んできました。クラブ活動を行いながら生徒会としての役割を果たす生徒も多く、よりよい学校づくりに励んでいます。

クラブ活動もまた盛んです。16のスポーツ系クラブと17の文化系クラブがあり、日々活気ある活動をしています。多くのクラブが各種大会や発表会などで優秀な成績を収めています。全員入部制ではありませんが、中学生の参加率は実に94%、中高全体での参加率も83%(ともに2021年度)にのびります。

同じ志を持った仲間とお互いに励まし合いながら目標に向かって切磋琢磨していき、そこから得られる達成感、クラブ活動の醍醐味のひとつです。各クラブにおいて引退まで熱心に、ときには辛抱強く積み重ねてきた経験が、生徒たちに自信と誇りを持たせ、その後の受験期にも最後までやり抜く原動力となっています。

学校行事

4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 入学式/1学期 始業式 ■ 遠足(2・3・4・6年) ■ 北米ホームステイ(5年) ■ 模擬試験(2・3年) ■ 大学入試報告会(6年) ■ 新入生歓迎スポーツ大会 	8	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夏期講習 ■ 2学期 始業式 ■ 第1回実力試験 	1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3学期 始業式 ■ 第2回実力試験 ■ ニュージーランド留学(3年希望者) ■ 中学合唱コンクール ■ 模擬試験(3・4・5年) ■ 漢字検定
5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 校外活動(1年) ■ 1学期 中間試験 ■ 大学入試報告会(5年) 	9	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共通テスト説明会(6年) ■ 模擬試験(6年) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全校ロードレース大会 ■ 共通テスト報告会(5年)
6	<ul style="list-style-type: none"> ■ スケッチコンクール(1・2年) ■ 大学模擬講義(5年) ■ 大学説明会(6年) 	10	<ul style="list-style-type: none"> ■ 山手祭(文化祭) ■ 2学期 中間試験 ■ 野外教室(2年) ■ 模擬試験(6年) ■ 英語検定 	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学年末試験 ■ 北米研修講習(4年) ■ 命を考える講演会(1・2年) ■ 芸術鑑賞会 ■ 卒業式 ■ 春期講習
7	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水泳大会(1・2・3年) ■ 1学期 期末試験 ■ 夏期講習 ■ 北米研修講習(4年) ■ リターンビジット(5年) ■ シンガポールイマージョンプログラム(3・4年) 	11	<ul style="list-style-type: none"> ■ オーストラリアホームステイ(3年) ■ 模擬試験(4・5年) ■ 大学模擬講義(5年) ■ 進路希望調査(4・5年) 		
		12	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2学期 期末試験 ■ 理科校外学習(1年) ■ 北米研修講習(4年) ■ 冬期講習 		

※2022年度は一部変更しています。



クラブ活動

クラスや学年を超えた仲間との絆を育み、学校生活を豊かにするクラブ活動も盛んです。



スポーツ系クラブ

中学生の活動日の目安

■ 空手道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 剣道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ サッカー部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 柔道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 水泳部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 卓球部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ダンス部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ チアリーダー部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ テニス部	※1日おき							他
■ 軟式野球部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ バスケットボール部(男)	月	火	水	木	金	土	日	他
■ バスケットボール部(女)	月	火	水	木	金	土	日	他
■ バドミントン部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ マウンテンバイク部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ラグビー部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 陸上競技部	月	火	水	木	金	土	日	他

※●必要に応じて

文化系クラブ

中学生の活動日の目安

■ アニメーション部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 囲碁・将棋部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 演劇部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 合唱部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 華道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 茶道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 写真部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 書道部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 吹奏楽部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 生物部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 箏曲部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 日本画部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ねころ部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 美術部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 文藝創作部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ ボランティア部	月	火	水	木	金	土	日	他
■ 理工学部	月	火	水	木	金	土	日	他

※●必要に応じて



制服

明るく伸びやかな校風を感じさせる制服です。ネイビーブルーのブレザーに、男子はグレンチェックのズボンにネクタイ、女子はグレンチェックのスカートにリボンで、活発なイメージです。胸のエンブレムと金ボタンがポイントです。



沿革

1966年 4月	山手学院中学校開校(男子のみ144名) 2年間の義務入寮制度開始	
1969年 4月	山手学院高等学校開校(男女共学となる) アメリカ研修旅行開始(ワシントン州デイトン市)	
1970年 7月	5期生より6年間全寮制度となる 交換留学生制度発足(アメリカ・カナダ・ ニュージーランド・オーストラリアより14名来日)	
8月	リターンビジット開始 (第1回デイトン市)	
10月	体育館完成	
1972年 3月	高等学校第1回卒業式	
1973年 5月	卒業生記念会館完成	
1980年 4月	高等学校通学制度導入	
1982年 4月	中学通学制度導入	
1986年 4月	本校舎別館完成(4階建て:12教室・4部室) 理数コース設置(高等学校)	
1987年 4月	アメリカに加えカナダにも研修旅行を実施 北米研修旅行と改称	
1989年 3月	オークランドグラマー記念賞制定	
1991年 9月	松信賞、江守賞制定	
2002年 11月	オーストラリアホームステイ開始	
2005年 3月	特別教室棟完成 (5階建て:技術・音楽・ 被服・調理・書道・ 特別教室8教室)	
2010年 4月	併設型中学校・高等学校認可	
10月	新図書館・カフェテリア完成	
2016年 4月	創立50周年	
2017年 4月	新体育館完成	

YAMATE Q&A

説明会等でよくある質問にお答えします。

学校生活について

Q1 夏休みなどの長期休暇の過ごし方を教えてください。

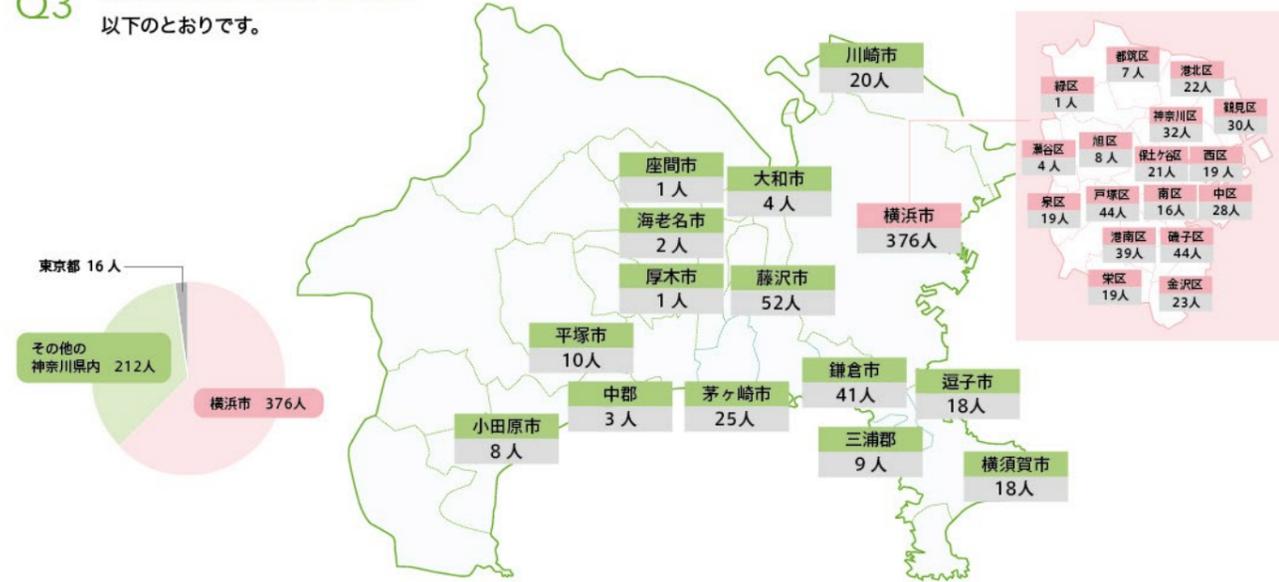
長期休暇中は5日間1タームの講習が多数開かれ、多くの生徒が参加します。また、勉強習慣の継続という観点から、多くの教科から課題が出ています。休み明けに実力試験があるので、生徒にとってはのんびりできない夏休み・冬休みともいえます。

Q2 どのような生活指導をしていますか？

生徒一人ひとりが自分の力でものを見、判断し、実際の行動に移せるようにとの目標を設定し、教育環境づくりを行っています。全体的には穏やかな生活指導ですが、集団生活でのマナー遵守や個人の尊厳を守ることにおいては厳しい姿勢で臨み、停学・退学を含めた対応も行います。

Q3 通学地域について教えてください。

以下のとおりです。



Q4 登校指導を行っていますか？

多くの生徒はJR京浜東北・根岸線の港南台駅から歩いて登校してきます。乗降客が多い駅ですので、定期的に駅から学校の間での登校指導を行い、片側通行などの交通マナーを指導しています。

Q5 宗教教育を行っていますか？

特定の宗教教育は行っていません。

Q6 学生食堂はありますか？

ガラス張りで見物しやすい学生食堂(カフェテリア)があり、12時から15時までの営業時間中は、談話室や自習室としても使用できます。席数は350。事前に食券を購入して利用します。

Q7 生徒会はありますか？

充実した学校生活を送るため、選挙で選出された会長・副会長・各種委員を中心に、自主的な活動を行っています。活動は山手祭をメインに、新入生歓迎スポーツ大会や卒業生を送る会の運営・スポーツ応援などです。

Q8 自転車通学はできますか？

生徒の安全を考え、自転車通学は認めていません。

Q9 時間割について教えてください。

下記のとおりです。始業時刻は8:30、7校時終了時刻は15:35です。

● 中1時間割表(例)

8:30~	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	美術	数学	体育	英語
2	英語	美術	理科	English	理科
3	数学	数学	English	英語	社会
4	理科	社会	国語	国語	国語
5	技術・家庭	英語	音楽・書道	数学	数学
6	技術・家庭	音楽	英語	理科	体育
7	LHR		体育	社会	学年の時間

● 中2時間割表(例)

8:30~	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	技術・家庭	数学	音楽	美術	数学
2	技術・家庭	社会	国語	理科	理科
3	理科	英語	英語	体育	国語
4	数学	国語	社会	数学	英語
5	英語	English	理科	社会	社会
6	体育	理科	数学	国語	English
7	LHR		学年の時間	英語	体育

● 中3時間割表(例)

8:30~	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
1	国語	国語	英語	理科	English
2	数学	数学	数学	英語	数学
3	美術・情報	英語	理科	社会	体育
4	美術・情報	体育	English	国語	理科
5	理科	社会	国語	数学	国語
6	英語	音楽	技術・家庭	体育	社会
7	LHR		社会	学年の時間	英語

● 授業は1コマ45分です。● 英語は週7時間(English 2時間含む)、数学は週5時間を配当しています。

学習について

Q10 高校からの入学生もいるようですが、クラスは混在になりますか？

中学入学生は6年一貫カリキュラムになりますので、高校への進学後も高校入学生とクラスが同じになることはありません。国際交流プログラムや学校行事、一部の選択授業、クラブ活動においては、中学入学生も高校入学生と交流しながら、同じ山手学院生として学校生活を楽しくしています。

Q11 土曜日には授業がありますか？

通常の授業は月～金曜日の5日間ですが、土曜日の午前中には土曜講座を開講しています。補習講座や資格試験対策講座、大学受験対策講座など多彩な講座が開講されていて、生徒たちはそれぞれのニーズに合った講座を受講することができます。勉強の講座以外に語学や教養のための文化講座も開講していて、生徒と保護者が一緒に受講できる講座もあります。
開講例 「補習英語」、「補習数学」、「入試小論文」、「共通テスト古文・漢文」、「TOEIC対策講座」、「英会話」、「韓国語講座」、「タイ料理」など

Q12 補習はありますか？

土曜講座での補習以外にも、夏期・冬期・春期の長期休暇中には講習が実施されます。それぞれ講習5日間程度の集中授業を行い、基礎事項の復習から大学入試問題の演習まで、さまざまなレベルの講習が開講されます。学期中の通常授業とは違った角度から、弱点の補強や発展的な学力の強化に取り組むことができます。

Q13 指定校推薦枠について教えてください。

主な指定校推薦枠(2021年度)

横浜市立大学	国際教養学部・理学部・医学部(看護)各1名	学習院大学	経済学部・文学部・国際社会科学部各1名、理学部5名
早稲田大学	法学部・商学部・文学部・文化構想学部・教育学部・基幹理工学部・先進理工学部・人間科学部各1名、創造理工学部5名	明治学院大学	全学部計10名
慶應義塾大学	法学部・商学部・薬学部各1名、理工学部2名	日本女子大学	人間社会学部3名、家政学部2名、理学部1名
上智大学	法学部・外国語学部・理工学部各1名	東京女子大学	現代教養学部2名
明治大学	国際日本学部・理工学部・総合数理学部各1名	成城大学	法学部2名、社会イノベーション学部2名
青山学院大学	教育人間科学部・総合文化政策学部・コミュニティ人間科学部各1名、理工学部5名	日本大学	経済学部・法学部各1名、生物資源科学部2名
立教大学	文学部3名、コミュニティ福祉学部・観光学部各1名	東京都市大学	環境学部・メディア情報学部・建築都市デザイン学部・情報工学部各2名、人間科学部・都市生活学部各1名、理工学部7名
中央大学	法学部2名、総合政策学部・商学部各1名、理工学部3名	芝浦工業大学	工学部・システム理工学部・デザイン工学部・建築学部
法政大学	経済学部・グローバル教養学部・デザイン工学部・理工学部各1名	聖マリアナ医科大学	医学部2名
東京理科大学	理学部・理工学部各2名、工学部・先進工学部各1名、経営学部3名	獨協医科大学	医学部
		北里大学	医学部・獣医学部各1名

入学試験について

Q14 2022年度の入試結果について教えてください。

以下のとおりです。

志願者/受験者/合格者/入学者

	試験日	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質倍率
A日程	2月1日	80	415	357	137	91	2.6
特待選抜	2月1日	60	589	510	277	24	1.8
B日程	2月2日	40	668	451	173	55	2.6
後期日程	2月6日	20	640	378	69	41	5.5
合計		200	2312	1696	656	211	2.6

男女別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
A日程	男子	256	222	87
	女子	159	135	50
特待選抜	男子	388	337	175
	女子	201	173	102
B日程	男子	448	301	124
	女子	220	150	49
後期日程	男子	416	253	40
	女子	224	125	29
合計	男子	1508	1113	426
	女子	804	583	230

2科4科別結果

		志願者数	受験者数	合格者数
A日程	2科	66	61	16
	4科	349	296	121
後期日程	2科	92	71	13
	4科	548	307	56

入試得点

	合格者						受験者平均点					
	最高得点		平均点		最低点		国語	算数	社会	理科	2科	4科
	2科	4科	2科	4科	2科	4科						
A日程	185	317	150.3	252.8	140	243	66.9	58.8	44.7	44.2	125.7	216.5
特待選抜	185	-	137.5	-	118	-	54.2	63.4	-	-	117.6	-
B日程	189	-	153.9	-	141	-	72.3	58.2	-	-	130.5	-
後期日程	174	310	132.4	242.0	126	235	56.1	43.8	42.4	45.6	100.0	188.8

Q15 帰国生について教えてください。

本校では、下記の条件に該当する者を帰国生扱いにしています。帰国生も一般の受験生と同じ試験を受けますが、一定の点数を上乗せした上で、合格を決定します。
□ 海外在留1年以上で、2020年4月以降に帰国した者。

Q16 宗教や国籍は問題になりますか？

宗教や国籍が問題になることはありません。ただ、入学後は本校が課す教科を修得し、指導に従うことが必要ですので、本校の教育内容をよく理解した上で志願してください。

Q17 合格の決定では、男女どちらを優先しますか？

男女別に募集をしていませんので、男女の区別なく総合点で合格を決定します。

Q18 特定の教科が悪い場合には、不合格になりますか？

総合点で合否を決定します。不得意な教科の失敗を少なくすること、そして、得意な教科での頑張りが合格への近道です。

Q19 山手が第一志望です。全日程を受験する予定です。合格の可能性はありますか？

試験の雰囲気やその年の問題傾向に慣れるためか、回数を重ねるほど得点が高くなるケースが多くみられます。また、繰り上げ合格を出すときでも、複数回受験者を優先しています。

Q20 2科・4科の選択制になっていますが、どのように合格者を決定しているのですか？

A日程・B日程・後期日程では、「2科(国・算)合計点」と「4科(国・算・社・理)合計点」の2つの合格最低点を設定します。2科受験生は2科の合計点数のみでの合否判定になりますが、4科受験生は、2科合計・4科合計のうちどちらか一方で合格最低点をクリアしていれば合格になります。

Q21 試験当日に体調をくずして発熱してしまいました。どうしたらよいでしょうか？

体調不良の場合は事前にお電話などでご連絡いただくか、試験が始まるまでに本校職員まで申し出てください。保健室受験などの対応をいたします。

Q22 入試に関する問い合わせはどのようにしたらよいでしょうか？

入試対策部で質問を受け付けています。受け付け時間は、月～金(祝日を除く)午前9時～午後4時です。
☎ 045-891-2111

諸費用について

Q23 入学時に必要な費用はいくらですか？ また学費、諸費用についても教えてください。

入学時に必要な費用

入学金200,000円のみです。施設設備費(240,000円)やそれ以外の校納金は入学後の5月に納めてください。ただし、入学金を期日までに納入しないときには、入学資格がなくなります。

学費について

学費は月額54,200円です。内訳は右記のとおりです。支払いは年6回、2カ月分ずつ銀行口座から引き落とします。

授業料	40,000円
維持費	8,500円
国際交流費	2,500円
タブレット費用	2,200円
父母の会費	1,000円
計	54,200円

諸費用について

〈制服など〉

男子:約87,000円 女子:約91,000円(税込み)

(夏服、冬服、シャツまたはブラウス夏・冬各3枚、ネクタイまたはリボン)

〈オーストラリアホームステイ〉

(中3:6泊7日)約280,000円 中学3年時 2回分割納入

〈北米ホームステイ〉

(高2:2週間)約320,000円 高校1年時 分割納入

航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈その他(年1回)〉5月引き落とし

図書館運営費6,800円、保健衛生費3,000円、生徒会費9,600円、教材費等預り金として100,000円(遠足費用、有償学用品代、副教材、模擬テスト等を年度末に精算します。)、および父母の会入会金2,000円

Q24 学費軽減の制度がありますか？

以下の制度があります。

1.特待生制度

入学試験の成績優秀者には下記のような特待生制度が適用されます。施設設備費・授業料全額免除(原則3年間継続)。

2.奨学金制度

入学後、経済状況が逼迫し、学業継続が困難な状況が生じた場合、学費の一部を補助する制度です。

3.弟妹割引制度

入学金・施設設備費半額免除。

Q25 保護者の海外転勤の際、在籍したままで生徒を海外に連れていくことができますか？

以下の条件で可能です。

①休学期間は最大31カ月(中学1年の2学期以降)とし、中学3年2月末日には復学すること。

②復学時に海外で在籍した学校の成績書類を提出すること。

③休学中は復学後に備えて、学力の維持に努めること。

